

指揮 小森 康弘

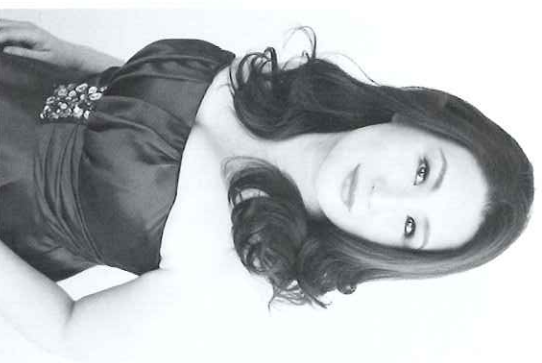
栃木県宇都宮市生まれ。宇都宮大学教育学部音楽科および東京藝術大学音楽学部指揮科首席卒業、同大学院修了。『新卒業生紹介演奏会』に出演、芸大フイルハーモニアを指揮する。また2004年、05年ウイーン音楽セミナーに参加。選抜者によるフラインガルコンベンションにおいて第3位を受賞する。2006～07年、ウイーン国立音楽大学オーケストラ指揮科に留学。その後ドイツのミュンヘンに拠点を移し、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フイルハーモニー管弦楽団等において研鑽を積んだ。指揮を松尾葉子、小林研一郎、佐藤功太郎、田中良和、小田野宏之、クルト・マズア、ハンス＝マルティン・シュナイト、ウロシュ・ラヨヴィッツ、エルザイン・ツヴェルの各氏に師事。

これまでウイーン・プロ・アルテ・オーケストラ、ウクライナ国立ルガンスク・フイルハーモニー管弦楽団、日本フイルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、仙台フイルハーモニー管弦楽団、名古屋フイルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、奈良フイルハーモニー管弦楽団、瀬戸フイルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、N響メンバーによるアンサンブル等、国内外の多数のオーケストラを指揮するほか、邦人作曲家の作品・オペラの初演を数多く行っている。現在、愛知県立芸術大学、足利オペラリリカ研究科講師。



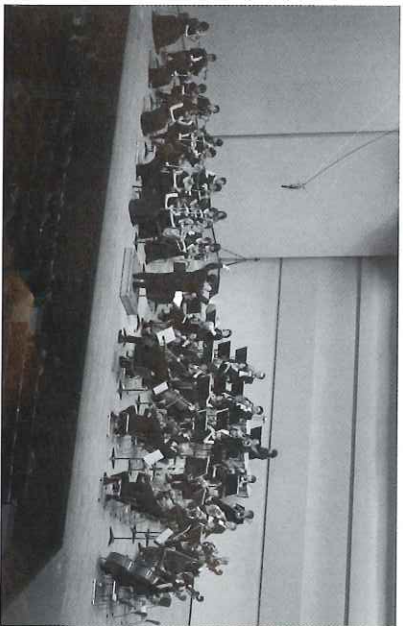
ソプラノ 田崎 尚美

福島県会津若松市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、卒業時にアカンサス音楽賞及び同声会賞を受賞。同大学院修士課程オペラ科修了。第8回藤沢オペラコンクール奨励賞。オペラはこれまでに『フイガロの結婚』伯爵夫人『ソルマ』アダルジーザ『フタルスタツ』アリーチェ『ラ・ボエーム』ミミ『カルメン』ミカエラ『イトメネオ』エレットラで出演。『蝶々夫人』『アイダ』『カルメン』『ソルマ』等のタイトルロールも抜粋で演じている。演奏会では『第九』、マラー『交響曲第四番』『千人の交響曲』等のソリストとしても活躍。東京交響楽団、日本フイルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フイルハーモニー交響楽団などのプロオーケストラとの共演も多い。二期会公演『サロメ』『トリスタンとイゾルデ』題名役カザナー。びわ湖/神奈川県民ホール『タンホイザー』エリーザベト『ワルキューレ』ブリュンヒルデ『さまよえるオランダ人』ゼンタのカザナーキヤストも務めた。2012年『バルジツァル』クンプリで二期会デビュー、堂々たる歌唱で聴衆を魅了した。近年では、2016年『チクウス島のフリアドネ』題名役、2017年日生劇場『ルサルカ』題名役にて出演、好評を博した。本年3月、びわ湖ホール『ワルキューレ』ジークリンデで出演予定。技巧と強い声を併せ持つ稀有なソプラノ。二期会会員。



沼津交響楽団

沼津交響楽団の歴史は古く1984年に結成されこれまで数多くのコンサートを、沼津市を中心に活動してきた沼津で唯一のオーケストラです。楽団の活動目的は設立当初より「音楽に親しみ、団員相互の親睦をはかり、芸術としての音楽の実現を目指し、地域の音楽文化の普及・向上に寄与する」こと一筋で地域の皆様と共に歩んで参りました。年1回の定期演奏会、フアミリーコンサート・第九演奏会・オペラなどの特別演奏会、移動音楽教室は、子供から大人まで気軽にオーケストラに親しんでもらう活動として、多くの皆様に喜ばれることは団員の何よりの財産です。沼響のオーケストラ活動はアマチュアリズムです。アマチュアリズムとは、「営利を目的



とせず純粋に愛好すること」です。それ故団員は、それぞれ本業の仕事をしつつ、個人練習を積重ね、その成果を週1回の合奏練習で確認し、音楽トレーニングを平日頑研鑽し、毎回の演奏会に望み地域を代表する音楽団体へと成長を遂げてきました。いままでもこれからも沼津交響楽団は、皆様と一緒に感動を共感したいと考えます。

- ・公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟（JAO）会員
- ・静岡県文化財団【第7回地域文化活動奨励賞】
- ・2011年 沼津市「ぬまづの宝」登録

- ・静岡県アマチュアオーケストラ連盟 幹事
- ・沼津市教育委員会感謝状受賞